

## 第6回 完成検査の改善・合理化に向けた検討会

1. 日 時：令和2年12月10日（木）13:00～14:30
2. 場 所：中央合同庁舎3号館8階特別会議室
3. 出席者：大聖委員、竹内委員、廣瀬委員、上條委員、山田委員、深井委員、  
萩原委員、関口委員、真壁委員、舘野委員、大室委員

### 4. 議事（概要）

本年9月に開催された「第5回 完成検査の改善・合理化に向けた検討会」の結果を踏まえ、本年度の調査内容の進捗報告及び当該調査結果に関する議論が行われた。

#### ➤ 自動化検査の導入促進

- ・（研）新エネルギー・産業技術総合開発機構において実施されている「規制の精緻化に向けたデジタル技術の開発」の「AIを活用した自動車の完成検査の精緻化・合理化に係る調査」による実証調査の進捗状況が共有された。
- ・実証調査及び他業界含む自動化検査事例の調査結果を踏まえ、自動化検査導入時に推奨される要件／ガイドラインの項目がまとめられた。
- ・自動化検査の段階的導入について、そのプロセスを明確にする必要性について意見があった。

#### ➤ 先進安全自動車の完成検査のあり方

- ・先進安全技術に対する国内各メーカーの品質保証の考え方に関して、これまでに実施された調査結果を報告した。
- ・先進安全自動車の検査手法は、技術進化と共に更新することが重要との意見があった。

#### ➤ 国際調和の観点からの型式指定制度等のあり方

- ・日本自動車工業会からの要望を踏まえ、品質管理に関するCOPステートメントに係る国際協定上の規定及び国内制度について整理した。
- ・他国事例等を参考に、COPステートメントに係る検討を進めることとなった。

#### ➤ 市場情報を踏まえた品質管理の精緻化

- ・各自動車メーカーにおける市場情報活用状況について、調査結果を報告した。
- ・品質管理において、市場から得られる車両情報の活用が有用であることについて意見があった。
- ・市場情報の収集・活用状況について、監査におけるリスク評価に反映可能であるとされた。

#### ➤ 監査の合理化

- ・技術進化及び社会情勢変化を踏まえ、監査におけるリスク評価及び監査手法の初期案を検討した。
- ・リモートによる監査のみでは確認できる内容等に限界があることを踏まえ、現地とリモートを織り交ぜた監査様式を探る必要性について意見があった。

以上